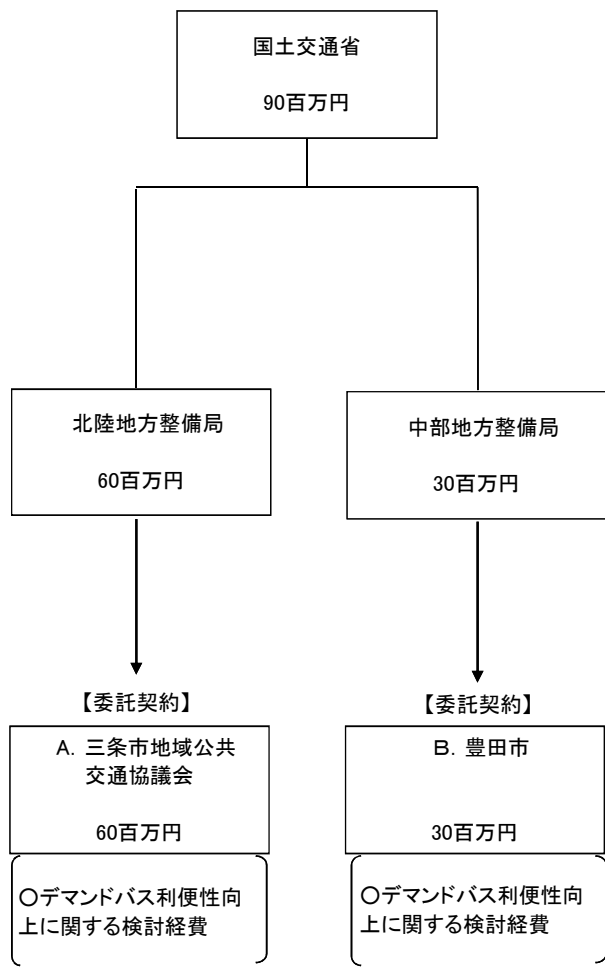


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	デマンドバスによる利便性向上に関する検討経費	事業開始年度	平成20年度	作成責任者		
担当部局庁	道路局	担当課室	企画課 道路経済調査室	室長 七條 牧生		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	・デマンドバスシステムは、バス利用者が電話等により乗車希望日時を予約し、その予約に応じた運行経路を設定し、随時バスを運行させるシステムであって、地方バス路線の廃止等による交通サービス水準の影響低減に一定の効果が期待される。地上デジタル放送の特徴の1つである双方向送受信機能を活用して予約システムを改善し、公共交通の利便性を向上させることで、もって道路空間の有効活用に資するものである。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	・現行のデマンドバスシステムは、電話やインターネット等による予約が主であるが、オペレーターの人件費等の費用やインターネットに不慣れな方々(高齢者等)には操作が困難など、現行の予約システムに問題があると考えられ、各家庭や職場、病院等に設置した地上デジタル放送対応テレビでバス乗車予約が可能となれば、高齢者や交通弱者等にとっての公共交通の利便性を高めることが期待される。当該事業では、デマンドバスを運行している地域において、地上デジタル放送を用いたデマンドバスシステムに関する検討を行うとともに、その導入効果について検証を行う。					
実施状況	<p><平成21年度の実施状況></p> <p>・デマンドバス運行している新潟県三条市、愛知県豊田市において、地上デジタル放送を活用したテレビ、ワンセグ携帯等による予約システムを導入し、その効果について検証を行った。その結果、当該システムを導入することで、受付時間帯の制約解消やオペレータを介することの負担感の軽減が確認され、公共交通の利便性向上について効果を確認した。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	300	100	-	-
	執行額	-	49	90		
	執行率	-	16%	90%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	・地方公共団体等に委託しており、これらにおいて当該事業を実施した。実施にあたっては、地域の公共交通協議会などにおいて、地方整備局と地方公共団体等が密に連携をとりながら、支出先や用途について定期的に把握を行った。				
	見直しの 余地	・当該事業は、地上デジタル放送を活用した予約システムの導入効果等を把握し、平成21年度をもって終了としたが、予算執行段階においては、各地域において、当該システムを導入するにあたり、事前に技術的な改善点(代替手段の活用やコストダウン)等を見出し、想定していた予算のコスト縮減等に努めた。				
予算 チーム 監視の 所見率 化						
補 記	<p>(予算額) (決算見込額)</p> <p>062 道路交通円滑化推進費 95016-2123-09 道路交通円滑化推進調査費 100百万円 90百万円</p>					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 三条市地域公共交通協議会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	デマンドバス利便性向上に関する検討経費	60			
計		60	計		0
B. 豊田市			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	デマンドバス利便性向上に関する検討経費	30			
計		30	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0